



Pre「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 1 学年 Vol. 2



令和 5 年 12 月 1 日

11 月 28 日(火)に医療専攻を希望する 1 年生 33 名を対象に医療講演会を行いました。今回、小出病院より看護師の櫻井里樹さん(本校 OB 医療専攻 2 期生)、薬剤師の佐々木陸さん(本校 OB)、臨床検査技師の大塚彩菜さんの 3 名に御来校いただき、貴重なお話を伺うことができました。



《看護師 櫻井さんのお話から》

櫻井さんは今年の 3 月に北里保健衛生学院を卒業され、4 月から小出病院で看護師として勤務されています。

看護師の仕事って何だろう？

医師の指示の下に患者の診療を補助したり、患者が入院生活を過ごしやすくするために日常生活の援助を行い、看護を行う職種。

- ・医師の補助 ・血圧体温などの測定
- ・注射、点滴、採血などの治療の補助 ・身の回りの世話

看護師として大切にしていること

- ・患者さんとコミュニケーションを取り、状態の理解に努める。
- ・患者さんに寄り添った看護をする（こうして欲しいという希望をできる限りかなえる）
- ・患者さんの病気だけでなく、生活や背景、家族のことも考え、看護する。

看護の仕事で頑張っていること

- ・研修や学習会への参加
- ・観察すること
- ・看護技術の向上



《薬剤師 佐々木さんのお話から》

佐々木さんは新潟薬科大学出身で、小出病院で薬剤師として勤務して 4 年目。

薬学部への進学について

薬剤師になるには 6 年制の薬学部に進学し、国家試験に合格しなければならない。今年の合格率は 7 割。学生生活は 1~3 年生は午前が講義中心、午後は実験を行う。講義は生物や物理、化学、法規、衛生など多岐に渡っている。4 年生はさまざまな試験、5 年生は実務実習（薬局、病院でそれぞれ 2 ヶ月半ずつ）、6 年生は就職活動、卒業研究や国家試験で大変忙しい。6 年間は長く感じるかもしれないが、それだけ充実した学習ができた。

薬剤師になってみて

薬局はコンビニエンスストアよりも数が多く、就職には困らない。他職種との関わりが多く、様々な職種のことも学ぶことができる。ただ、6 年間の大学生活で勉強してきても、まだまだ現場の知識に追いつけないことを日々実感している。

最後に

今後の薬剤師として、人とのコミュニケーションや、共感、協調スキルが大切。
”対物業務”から”対人業務”に代わってきている。



《臨床検査技師 大塚さんのお話から》

大塚さんは南魚沼市出身で、小出病院で臨床検査技師として勤務して7年目。

臨床検査技師とは

様々な検査を行い、患者さんのデータを集めて医師に提出する。検査には検体検査と生理検査があり、検体検査は患者さんの体から採取した血液や尿を調べる。PCR検査も検体検査の1つである。生理検査とは患者さんの体に検査器具を取り付け調べる。生理検査には超音波検査や心電図検査などがある。

検査技師の魅力

データを一番に医師に提出し、早期発見の手がかりや、必要な薬の選択など次につなげることができる。また、自分の興味のある分野をさらに学ぶことにより、その分野のスペシャリストになることができる。



《生徒の感想》

・今回の講演を聞いて、医療系の仕事についての知識が増えたな、と感じました。私は看護師という職業を目指しているため、櫻井さんからの話を聞くなかで、患者さんの病気だけでなく、その人の生活も援助するという言葉に、新たな視点が増えました。看護師＝病気を治す援助、というイメージが強かったのですが、心のサポートも大切なんだと学ぶことができました。

・それぞれの職種で仕事内容も全然違って、でも、人の命に関わっている。ということに関しては同じで、今日お話をしてくださった3人の方々、一人ひとり、患者さんと向き合っている、ということが分かりました。そして、病院だけでなく他の施設で働いている人も沢山いることが分かったので、幅が広がったなぁと感じました。

・現在働いている人の講演は、とても勉強になりました。自分たちの仕事ももちろんですが、患者さん達とのコミュニケーションや他職種の方々との交流も大事にして働いていることも知ることができました。臨床検査技師という職種は、あまり聞き覚えのない職種だったので、少しでも知ることができて良かったです。

・個人的に薬剤師が気になっていたので、お話が聞いてよかったです。自分の知らなかった薬剤師の仕事が知れたり、患者の薬を用意する人と別なもう一人がチェックをする「ダブルチェック」をしているおかげで、安心して薬が使えるんだなぁと感心しました。知らなかったことを知ることによって興味があるものがどんどん増えていき、夢を見つけられたらいいな、と思うし、今の時代、医療が重要になってきているので、自分に合った仕事を見つけられたらいいな、と思いました。

・臨床検査技師という仕事は、詳しくイメージできないような職業だったが、今日の講演で詳しく仕事内容やそれ以外のことも知れて良かった。このことから、聞いたことのある単語でも改めて聞かれると分からないので、積極的に調べることが大切だと気づいた。調べることによって損はないし、知識が増え、何より自分の将来などの幅も広げられることができると思う。